



実践テーマ

生徒の自作弁当の写真を拡大提示し、彩りや栄養的にバランスのよい献立について考えさせる。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉「弁当の日」で作成した自作の弁当の写真を電子黒板上に提示し、自分の弁当の特徴を発表する。(わかりやすく発表する)
- 〈展開〉自分や友だちの弁当の良い点を記入する相互評価カードを電子黒板に提示し、記入のしかたについて説明する。さらに、自作プレゼンテーションやWebを電子黒板に提示し、弁当の栄養バランスや食欲を高める彩り、盛り付けの工夫などについて説明する。また、必要に応じて部分拡大し、理解が深まるようにする。(生徒の理解を助ける)
- 〈まとめ〉電子黒板を使って、本時のまとめをする。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・各グループの代表者が、自分の弁当とその特徴について発表する(静止画①)。	●デジタルカメラ画像(弁当写真)
展開	・グループ内の友だちの弁当の良い点を観点別に評価し、相互評価カードに記入する。 ・PC教材やWebを見て、弁当の栄養バランスについて考え、ワークシートに記入する(PC教材・Web)。	●自作PC教材 使用ソフトウェア: PowerPoint® (Microsoft Corporation) ●Web 「簡単おいしいお弁当レシピ集」(キッコーマンHP)など
まとめ	・自分の弁当の色彩や栄養的なバランスについて振り返り、資料や友だちの発表を参考にして改善させる(静止画②)。	●デジタルカメラ画像(弁当の写真)



写真を提示し、弁当作成のテーマや工夫した点などを説明



プレゼンテーションやWebを提示し、説明する箇所に線をひく



弁当の写真に、色分けして線を引き、視覚的にバランスを考えさせる

生徒の反応・効果

- ・電子黒板に提示した弁当の写真に書き込みをしたり、拡大したりしながら発表させることで、生徒の理解が深まった。
- ・電子黒板上で、弁当の「主食」「主菜」「副菜」を色分けして線を引き、栄養バランスを視覚的に確認したり、食材の彩りについても、拡大して示すことで食欲を増す献立について理解を深めたりすることができた。

活用のポイント

- ・電子黒板を活用することで、鮮明な写真を大きく提示し、コメント等を書き込ませながら説明することができる。
- ・書き込み等を加えた写真やデータを保存しておくことで、事後の指導や次年度の資料としても役立つことができる。